▼ケブザラ皮下注　［注］

【重要度】　【一般製剤名】サリルマブ（遺伝子組換え）　Sarilumab（Genetical Recombination）　【分類】関節リウマチ治療薬［ヒト型抗ヒトIL-6受容体モノクローナル抗体］
【単位】▼150mg・▼200mg/シリンジ・オートインジェクター
【常用量】1回200mgを2週間隔で皮下投与［血球減少，肝障害では1回150mgに減量考慮］
【用法】皮下注●12週以内に効果判定
●腹部，大腿部又は上腕部のいずれかに前回から少なくとも3cm離して皮下注
●B型肝炎ウイルスの再活性化，結核感染既往者の発症に対応
【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期CKD患者への投与方法】常用量（1）
【特徴】可溶性及び膜結合型IL-6受容体αサブユニット（IL-6Rα）に特異的に結合し，IL-6を介するシグナル伝達を阻害.
【主な副作用･毒性】
【安全性に関する情報】
【F】80%［sc］（1）
【tmax】3日（1）
【代謝】
【排泄】
【t1/2】3.5日（1）
【蛋白結合率】
【Vd】5L/body（1）
【MW】約15万
【透析性】除去されない（1）
【O/W係数】
【相互作用】IL-6によCYP3A4がdown regulationされているため反応性の代謝亢進が発生しうる（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児CKD患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【更新日】20220802

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。